

ズーム・アップ・カメラ・アイズ

サグラダ・ファミリア教会

Temple de la Sagrada Familia

永遠に生き続ける設計者の夢と思想
(スペイン バルセロナ)

Consultant
会誌編集専門委員会



■写真1—建設が続けられるサグラダ・ファミリア教会

バルセロナにはスペインの象徴ともいえるサグラダ・ファミリア教会がある。1882年の着工以来121年、未だに完成を見ない建造物であり、年間約5百万人もの人々が訪れ、現在も世界中の人々から熱い注目を集めている。一体何故、一世紀以上に亘り工事が続けられ、そして人々を魅了し続けているのだろうか。

1—建築家ガウディの独創的構想

元々この大聖堂は、書籍商であったホセ・マリア・ボカベッラを指揮者とするサン・ホセ使徒会が、寄付金による大規模な聖堂の建設計画を立て、工事を始めたものである。1882年、建築家のF.P.ピリャール・ロサーノにより地下礼拝堂が着工されたが、1883年には彼に代わり弱冠31歳のアントニオ・ガウディ (Antonio Gaudi, 1852～1926年) を主任建築家として迎え入れた。ガウディの独創性溢れる思想や卓越した構想は今も受け継がれ、現在まで工事が行われている。その膨大な資金は寄付と入場料等で賄われているという。工事中の現在も、地下礼拝堂ではミサが行われており、教会としても機能している。

敷地は、約115×131m、14,660m²の面積をもつ。この場所はもともと競馬場に予定されていたバルセロナ中心部の一区画であった。今世紀初頭まで民家が点在する野原に囲まれていたが、今では都市化が進み市街地の真只中に位置している。

平面形状はラテン十字形で、5つの身廊と3つの身廊による交差廊を持つ。長辺は90メートル、幅は60メートルであり、中央身廊の幅は15メートルもある。

聖堂の外観は完成の暁には合計18本の塔で構成される。現在そのうち鐘撞き塔8本が完成している。今後は、さらに4本の鐘撞き塔と、完成すると高さ170メートルにも及ぶという十字架を頂くイ



■写真2—ゆったりと時が流れる工事風景

エス・キリストに捧げる中央塔、聖母マリアの塔や福音書家の塔など5本の塔が建造される予定である。

2—壮大にして綿密なデザイン

サグラダ・ファミリアを目の前にしてあまりのスケールの壮さにまず圧倒された。

実際見て手で触れてみると何故か心地よさを感じさせる。よく見ると私たちが何時も目にしていて樹木であり生き物などを自由にデザインしている。内部に足を踏み入れると、アツと驚く。いきなり工事風景が眼に飛び込んでくる。工事現場といっても、作業する人達は皆悠々として人もまばらである。どこぞのお国のように工期と予算に縛られた、経済性や効率性を追求する突貫工事とはまったく違い、ここでは時間がゆったりと流れて且つ繊細に計画されている。教会中央部の工事中のホール屋根を支える巨大な柱は、あたかもケヤキの巨木を思い出させる。

微細部にわたり端麗に施された彫刻の美しさやタイルを砕いて張った装飾の彩りが見事だ。一見すると奇妙に見える建築物の形も、構造模型を作ったり逆さ吊り実験をするなど、大胆且つ緻密に計算されたもので、デザイン的構造の素晴らしさを痛感する。

「一体いつ完成するのか？」やはりこの言葉が頭に過ぎった。そして次に、生きている間には完成を見られないであろうという諦めと、無念な気持ちになる。きっと誰しもが感じることであろう。実際、バルセロナでも新聞でよく取り上げられている。

3—受け継がれる遺志

この聖堂の正式名称は「サグラダ・ファミリア贖罪聖堂」という。この存在感と、構想実現のための困難さ、そして永遠に尽きることのない希望は、贖罪の場所としてアントニオ・ガウディが後世の人々に残したメッセージなのかもしれない。



■写真3—ケヤキを思い出させる巨大な柱



■写真4—フォルムを決定する際に使われた逆さ吊り模型



■写真5—バルセロナ市街地にそびえ立つ教会

ガウディは、伝え聞く偉大さ、華やかさとは裏腹に、不慮の電車事故で負傷したまま放置され、志半ばにしてひっそりと死んでいったという。ガウディの壮大な構想はその遺志を継いだ人々の手によって半ば永遠に続けられるであろうという思いがする。

少し謎が解けたような気がしてきた。サグラダ・ファミリアの未来の姿を空想しつつ、設計、施工に携わる名工達に感謝し、ガウディの遺志が受け継がれて実現していくことを願いつつサグラダファミリアを後にした。

(取材：初芝美奈子)

- 〈参考文献〉
1) ガウディの建築 鳥居 徳敏著
2) ガウディ 建築家の見た夢 フィリップ・ティエボー著

(写真：1、4、山田耕治 2、塚本敏行 5、富永美幸 6、米岡 威 他、筆者)



■写真6—巻き貝のような塔の内部



■写真7—ガウディが遺した完成予想図